

未来をひらく 思いをつたえる

Hirakû

26

表紙：クラフト“春・満・開！”

みんなが待ちに待った春の到来で、キンダーキッズにも満開の桜が登場！

たく力強い木には数え切れないほどたくさんの花が咲いています。

木の下にはたくさんのチューリップも咲き、飛んできたちょうちも春の訪れを喜んでいるようです。

みんなもこれから元気にお外で遊ぶのが楽しみですね！

アイデアを お待ちしております！

「Hiraku」では、英語・幼児教育の最新ニュースやトピックなど皆さまに役立つ情報をお届けいたします。

- ・最近気になっていること
- ・取り上げてほしい話題
- ・新しいコンテンツ etc...

皆さまからのご意見・ご要望を
お待ちしております！

「Hiraku」編集部

TEL : 06-6135-0150

Mail : hiraku@kinderkids.ed.jp

Hirakû

2023年3月発行 Vol.26

次回5月末
発行予定

株式会社キンダーキッズ

TEL : 06-6135-0150

〒530-0033 大阪市北区池田町3-1

ぶらら天満ビル2F

www.kinderkids.com



★キンダーキッズ アドベンチャースクール誕生！

★卒園生保護者インタビュー

★グローバルトランスファー体験記 ★英検合格者 File 009

★キンダーキッズ作品コンクール ★Kinder+リニューアル



日本の心と、英語の力。Kinder Kids inc.

キダーキッズに 新ブランド誕生!



KINDER KIDS
International Adventure School

キダーキッズインターナショナル
アドベンチャースクール

キダーキッズインターナショナルスクール東京本校は、2023年4月入園K1生より「キダーキッズインターナショナルアドベンチャースクール」として生まれ変わります。

子どもたちの好奇心を刺激するアドベンチャースクール

広々とした敷地内に木々が生き茂り、滝や池で思う存分水遊びができる。そんな恵まれた環境を最大限にいかした野外活動をこれまでのカリキュラムに加えたプログラムが、東京本校で2023年4月からスタートします。その理念は3つの柱で構成されています。

アドベンチャー スクール 3つの理念



Health

人生の全ての根源である
健やかな身体と
心を育む

Wealth

友情や愛情にあふれた
真の豊かさを
築く

Growth

いかなる環境下でも
自らの力を発揮し、
培ったことを仲間や
後輩に継承する

キダーキッズはこれまでも自然に日常的にふれ、季節の移り変わりを感じる豊かな感性を育ててほしいという願いを込めた教育を行ってきました。アドベンチャースクールでは、**野外での活動を従来の約3倍に増やし**、さらに多くの自然学習を通して次のような力を身につけることを目標とします。

- (1) 逆境を乗り越える力
- (2) 主体性や社会性を育む
- (3) 自然との関わりを深める
- (4) 自然体験を通じて達成感を味わう



子どもの発達に与える自然学習の効果

デジタル機器を使いこなすことは大切ですが、あまりに長時間スマートフォンやタブレットの画面に向かうことは心身の健全な発達に対して様々な弊害が指摘されています。これらの機器を使用する時間を適切に制限し、**お友達と話し、外で元気に遊ぶ時間を十分に持つことが**必要です。自然と触れ合う時間を増やすことで子どもたちは新しい景色や音、香りに遭遇し好奇心が引き出されます。**日常的に自然と触れ合うことで自己認識力や他者の気持ちを察する能力が向上し、観察力や推察力が発達**しやすいという研究結果もあり、室内で行っている活動を野外で行うことで脳の働きが活性化し、同じ活動を行う場合でも、**より多くのことを吸収**するとも言われています。



キダーキッズアドベンチャースクールの野外活動

アドベンチャースクールでは、**運動や動植物とのふれあい**を始め、石や枝、葉など**自然の中にあるものを使った自由な創作**を行ったり、堆肥作りや小さなダム作りなど、**自然を通して科学的な学習**を行ったりします。自分の周りの世界に興味を持ち、チームワークや想像力が必要な外遊びを通して友達との積極的な関わり合いを体験することで、**新しいことに挑戦し自信を持たせる**ことができます。

アウトドアブランド「CHUMS(チャムス)」とコラボ

「CHUMS」はアメリカ・ユタ州にてリバーガイドをしていた創業者によって1983年に生み出されたアウトドアブランド。カラフルで目を引くキャンプグッズから、実用的なアウター類、ファッション性の高いキッズウエアまで種類豊富に取り揃え、世界中の多くのファンから支持されています。自然の中で学ぶことをコンセプトとしたアドベンチャースクールと、人気アウトドアブランドCHUMSとのコラボレーションが実現し、オリジナルリュックサックが誕生しました。**野外活動に適した高い機能性を持ちつつ、身につけて楽しくなるような素敵なデザイン**に仕上がりました。



カリキュラム責任者からのメッセージ



アドベンチャースクール
カリキュラム責任者
ライアン ロベス

私たちは子どもたちの健康的な生活習慣をサポートし、学習到達度を上げ、仲間同士のつながりを深める教育を実現するため「新しい冒険の旅」に出発します。現代の子どもたちは快適で何不自由の無い環境に置かれ、すぐに欲求が満たされることに慣れてしまっています。予測不可能な自然に関わることで、子どもたちは**精神的・身体的な困難を乗り越え、恐怖心やストレスを克服して、**学業や将来のキャリアにおいて、より前向きな成果を生み出すことができます。一さあ、私たちと一緒に泥んこになりませんか？

東京本校HP



Instagram



東京都大田区
東嶺町41-20

Interview 保護者様に聞く

良い学校に合格することより、どう過ごすかが大切
失敗しないことより、失敗を「糧」に成長できる強い子になってほしい

キンダーキッズ高槻校1期生で現在中学1年生N.M.さんのお母様に、取材させていただきました。

取材のきっかけは高槻校在園生の保護者様に多くの反響を呼んだ4人の卒園生ママによる座談会でした。今回M様に代表してキンダーキッズへのおもいや、中学受験の体験談などお話をいただきました。



R.M.さん
高槻校卒園
N.M.さんのお母様

▶娘さんはベビーの時から英語をはじめられたそうですが、その理由を教えてください。

日本人が不得意なリスニング、スピーキングで苦勞しないように、早くから英語に触れさせ学ばせたいと思いました。「LとRの発音を聞き分けられる耳は5歳までに形成される」と何かで知ったことも影響したかもしれません。大きくなってから留学するという方法もありますが、娘を妊娠している時にSARSや新型インフルエンザによる社会混乱を見た時、将来この子が留学したいと思っても、その時それができない状況になる恐れも感じました。それはコロナで現実のものとなりました。日本でインターナショナルスクールに通うことで留学に近い環境で学べ、世界の混乱に振り回されることなく安心して英語に親しめるのではないかと考えたのです。

▶高槻校開校時に他のプリスクールからご転園いただきましたが、どのような点に魅力を感じていただいたのでしょうか？ また実際に通ってみてどうでしたか？

キンダーキッズに入園を決めた理由は大きく3つあります。

1. 日本の子どものためのシステム

転園前に通っていたスクールは月齢によるクラス分けで、早生まれの娘は現学年の他の園児と同じ機会が貰えないことがあり、外国様式に合わさなければなりません。キンダーキッズは日本の保育園・幼稚園の良さを残しつつインターナショナルスクールの要素もあり、一石二鳥のお得感に心を奪われました。

2. 安心して日本の小学校に進学できる

よく耳にするお行儀の問題ですが、キンダーではちゃんと指導して下さるので小学校進学後の不安が解消されました。実際に、小学校で娘のお行儀や日本語について伺った時にも全く問題ありません、と太鼓判を押してくださいました。

3. 子どもファーストと、傾聴の姿勢

以前のスクールでは要望を言ってみても即座に断られてしまい、検討すらして貰えませんでした。私はキンダーキッズのシステムは完成度が高いと思っていましたが、子どもファーストで考え、保護者の意見を聞き更によくしようという傾聴と向上心を感じることができました。

実際に通ってみると、本当に私の理想通りで「もっと早く出会いたかった！ベビーから通わせている人が羨ましい！」と思ったほどです。最近キンダーキッズの初等部ができたそうですが、もし娘の時代にできていたら進学先をかなり迷ったかもしれません。今のキンダー生は選択肢が広がり羨ましいですね。

▶卒園後の英語キープと英検について

我が家では上の兄の影響もあり娘も中学受験を考えており小1から塾や習い事がありGrad Clubは小3迄で英語から少し離れました。これはキンダーで培った英語力は抜け落ちないと信じて、他の教科に打ち込む事を選択した為です。結果的に娘が通っている学校は英語にも力を入れているので得意な英語をいかすことができております。

▶英検を受けた時期が遅かったそうですが---

周りはK3で準2級に挑戦するお子さんもいて確かに焦りました。私は時期をもっと後にしようと考え、娘は中1で自分から受けてみようと思いの3日ほど前に過去問を解いた程度の準備で合格できました。英語受験など英検資格をいかした受験をお考えの場合は別として、幼少期での受験は親も大変で、楽しんで英検に臨んでいない場合はお子さんの負担を考えて時期を遅らせても良いと思います。

▶受験前の反抗期、どう乗り越えたのですか？

子育て・受験は我が子に幸せになってもらいたくて必死になり、つい頑張りすぎてしまいます。私は色々な勉強法を調べて、当時一世を風靡した佐藤ママのメソッドを取り入れたり超難関校の集中講座に娘を参加させたり、良いと思うことはどんどん取り入れました。娘は素直に伝えてどんどん伸びてくれましたが、足し算し続けてしまい反抗するようになったのです。娘はとてつなかったようで「お母さんの言うことを真面目にやるとしんどい」という風に思い始め、話を聞かなくなってきました。このまま反抗期のような状態が続くと受験も出来なくなると考え、接し方を変えてみました。すると次第にまた自分から学ぼうと机に向かってくれるようになり、無事受験も突破し、今の学校で充実した毎日を送ってくれています。

▶《受験をゴールにしない》

受験はしんどいので目標校合格をゴールにしがちですが、それをゴールにすると子どもは燃え尽き症候群のように目的を見失ってしまうので自らその先の目標が持てるようサポートが必要だと思います。

▶具体的にどのように方向転換されたのでしょうか？

褒めて自己肯定感を高められるようにしました。自分から机に向かったら褒める、自分で弱点を見つけて強化しようと頑張っていたら褒める...など小さなことでも努力したこと、自立・自律できたことを褒めました。

▶《受験はつらいけれど、いいこともあったと思ってもらうことをかたちに》

娘が塾からすぐ喜んで帰ってくる“ホメカ”を家でも実践して、更にデコレーションを加えて頑張ったことを褒めるカードを娘に渡しました。



母と娘の心を繋いだホメカ(褒めカード)

▶最後に

唯一正解の教育法はないと思いますが、日頃から子どもとコミュニケーションを取って安心して気持ちを打ち明けられる環境を作り、子どもからのサインを見逃さないように心掛けています。お子様が失敗しないように先回りするよりも、悔しい、つらい、悲しいという負の気持ちに勝てる強いメンタルを持てるようにしてあげてください。そしてそばにお母さんお父さんがいてくれたら安心できるので、一緒に伴走し続けてあげてください。



▶【編集部より】

Nさんはキンダーキッズ時代から医師になる夢を現在も持ち続けて勉強に励んでいるそうです。また学校での得意科目は英語で、絵を描くことも好きなので美術部に入り、アニメキャラクターの完全模写に取り組んで将来、海外の人とのコミュニケーションに役立てたいそうです。

貴重なお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。



海外一時転園に行ってきました!



~グローバルトランスファー体験記~



R.Y.ちゃん(茨木彩都校 K1)
転園先: Clarkson 校

登園初日は人見知りの娘が園に馴染めるのが心配していましたが、先生方に温かく迎え入れて頂き、すぐにクラスに溶け込んで安心しました。2週間後にはクラスにベストフレンドが出来たと知り驚きました。そのお友達とは今後も園を通してペンパルとして繋がっていただけると素敵だなと思います。園で食べるホカホカのランチが美味しかったようで、沢山食べたいのが印象的でした。



H.A.くん(高槻校 K1)
転園先: Oakville 校

オークビルはとも自然が豊かで、オンタリオ湖の湖畔を散歩したりブッシュの中を散策したりする豊かな時間も確保できました。日本にはない広大さの中で小さな体を携え、子どもは間違いなく新しい風が吹いたに違いないと確信します。オークビルは育児に関する法律が厳しいようですが、私がかかっている国内の教育施設での在り方とは全く違い、興味深かったです。



M.K.ちゃん(福岡校 K1)
転園先: Hawaii 校

Hawaii 校の先生からメールをいただき、事前に日本語でご質問などさせて頂いただけなので安心して行きました。「娘が泣いて行きたがらなかったら」と心配していましたが、同じ Kinder kids だから、初日からすんなりクラスに入って行き、帰りがたがらないほど楽しんでいました。先生のこと大好きになり「English 好き!」と、話す事も書く事もこれまで以上に積極的になったと感じています。



Y.A.くん(横浜校 K2)
転園先: Hawaii 校

コロナ禍で海外の体験をなかなかさせてあげられなかったのが、今回海外トランスファーを利用しました。スクール自体は似た環境なので、ともスムーズにハワイ校に馴染めたと思います。準備の段階から窓口の方々には密にコミュニケーションを取ってもらえ、とても助かりました。事務手続き費用のみで海外トランスファーができるのはかなりリーズナブルだと思いました。



H.S.ちゃん(名古屋校 K1)
転園先: Hawaii 校

現地での文化行事にちなんだイベントやクラブもあり、親子でとても興味深く参加させていただけました。降園後や週末は、娘の大好きなフラダンス鑑賞やダイヤモンドヘッド登頂、イルカと遊んだり、ホテル内の託児施設からビーチやプールに連れられて行ってもらいました。現地の方たちにもとても人気のあるスクールだそうで、制服を着て歩いていると声をかけられることもしばしばありました。

海外一時転園についての詳しい情報は Kinder+ でご覧ください

Kinder+にログインし、コンテンツページから「グローバルトランスファー」へお進みください。体験記も今後更新予定です。



英検合格者 File009

Entrant

H.H.ちゃん

卒園スクール	名古屋校	受験時のクラス	G2
受験年月	2022年2月 (2021年度 第3回)		
合格級	2級		



勉強法

普段はGrad Clubのアフタークラス、サタデークラスに通い、英検の対策としては「英検スタディ2級対策動画レッスン」を受講しました。他の習い事も忙しかったこともあって、自宅での自分の都合の良い時に自分のペースで学習できるビデオレッスンはとても助かりました。2級では意味の難しい単語が多くなっていくので、単語だけは英検公式アプリの「スタディギア」も併せて活用していました。

これまでは英語が主体でしたが、今では国語と算数の塾も通い始めました。これからも色々なツールを活用してバランスをとりながら、大好きな英語を続けていきたいです。

キンダーキッズのココが良かった!

キンダーキッズでは会話だけでなく、早くからライティングの練習を始めていたので、英検の勉強をする時にもそれが重要な下地となっていたと思います。

英検スタディの2級対策動画では全て英語でのレッスンということも良かったです。日本語での説明は言葉が難しくなってしまう、かえって意味の理解に苦労することが多いのですが、英語での説明はとても分かりやすかったです。

Grad Clubの英検スタディとは



「通年対面レッスン」と同じ授業内容・同じペースで進行するビデオレッスンがオンラインで受けられます。ビデオ公開日より12日間何度でも視聴でき、いつでも好きなときに受講できます。自宅にいながら教室レッスンと比べても遜色なく学習が続けられます。

保護者様にご質問 家庭でのサポートは?

娘は他の習い事もあったので、英検への挑戦も無理せずコツコツ続けようという方針でした。また我が家は共働き世帯なので、親は声かけはできて勉強そのものまで付き合う時間的余裕がほとんどありませんでした。本人が「英語が好き」という気持ちが元々強くあり、Grad Clubのアフタークラス、サタデークラスが英検の勉強の基礎となっています。Gradのプログラムには本当に感謝しています。

2級では一次試験のライティングでも二次試験の面接でも、社会問題や時事などについての意見や考えを述べる問題が出題されるので子どもには難解なのですが、特別に対策をしたわけではなく週に1~2回、朝・夕方のニュースを見ながら会話をするようにしていました。あまり焦らず、少しずつそうした話題に慣れていけたら良いかなと思いました。

保護者様にご質問 お友だちへのアドバイス

我が家も昔この「Hiraku」を読んで、子どもが英検の勉強にチャレンジする世界を知りました。キンダーキッズの先生から「両親が英語を得意でなくとも本人が好きなら伸びます」と言われたことがずっと支えとなって娘の頑張りを応援してきました。今ではその言葉が正しかったと実感しています。キンダーキッズから卒園後のGrad Clubまでが一体となっていて、一連の流れがあるので「継続は力なり」で続けていけば合格できると思います。

2023年4月より

Kinder+ 新しい機能が加わります



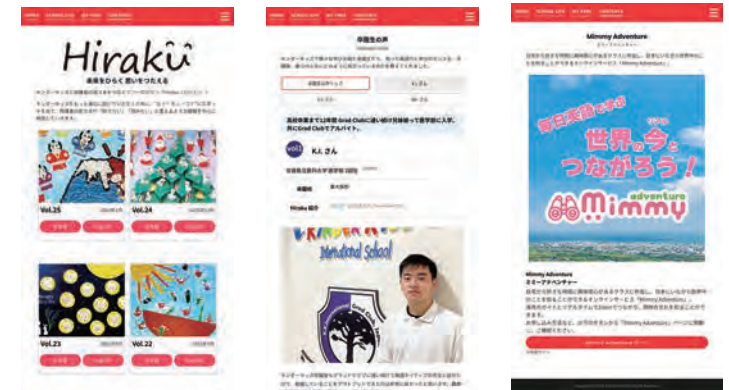
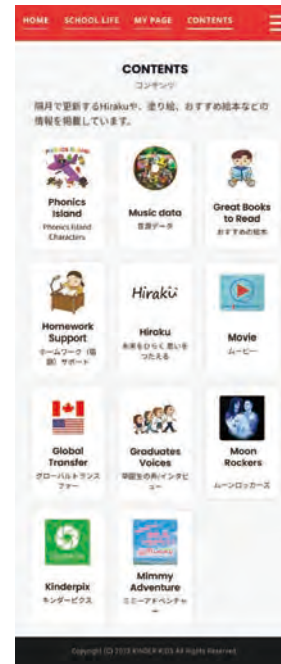
登録連絡 でご連絡いただける内容が増えます。

- ① 従来の体温連絡に加えて、「**排便状況**」「**朝食**」についてご連絡いただけるようになります。
- ② 遅刻理由について、従来のテキスト入力だけでなく、**選択式が加わり**、入力の手間が軽減されます。
- ③ 新たに「**自由記入欄**」が追加されました。従来の**紙の連絡帳に代わり**、こちらから連絡事項をご入力いただけます。



Kinder+ コンテンツページもご活用ください

Kinder+のコンテンツページには、ご家庭での学習をサポートする動画や、おすすめ絵本情報、卒業生のインタビュー記事など、お役立ちコンテンツが多数掲載されています。



キンダーキッズと保護者の皆さまをつなぐフリーマガジン Hiraku(ひらく)

卒園生の卒園後の活動についてのインタビュー記事 卒園生の声

子どもの興味を世界に広げ、好奇心を刺激するオンラインLIVEサービス Mimmy Adventure(外部サイト)

※Kinder+コンテンツページは学年や受講コースで見える内容が異なります。

これからも新しいコンテンツが随時更新されていきます。ぜひチェックしてみてください！

2023年4月より スクールからのメール連絡が変わります



4月より、従来のclf(シルフ)メールに代わり、スクールからのメール連絡は、学校に特化したメール配信サービス「**グループメ**」を使用します。メールでの受信だけでなく、シンプルで使いやすい専用アプリで受信することもできます。ぜひご活用ください。

ユーザ登録方法や、アプリのインストール方法など、詳しくは4月以降キンダープラスでご確認ください。



Kinder+